
願い事

河 美子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

願い事

【コード】

N9559H

【作者名】

河 美子

【あらすじ】

いろいろな子供がいるよ。その子の本当の姿をあなたは知っていますか。

今日も、お父さんは帰ってこない。お母さんはヒステリックに妹を叱ってる。

私は、中学校を受験するためにこれから塾へ行くところ。

父は医師。私もそうなれと言われている。小学校では、なんとなく嫌われている。

私って理屈っぽい。自分でもそう思う。お母さんとそっくり。

お父さんが遅いのは、仕事じゃない。浮気だとお母さんは毎日、塾へ行く車の中で話し続ける。

聞きたくないから、勉強する。聞こえないふりをする。

ある日、お母さんが

「あなた、どうしたの、その眉毛。」

「えっ、何が？」

「ないじゃないの。」

「うん、抜いた。暇なとき抜いてる。」

「抜いたって、やめなさい。みっともない。」

「うん」

先生が、眉毛が薄くなっているのに気がついて、同じことを言った。

すると、

「自分で抜いてるの、それは自分で体を痛めつけてるのよ。何か辛いことあるんじゃないの？ 友達？」

「ううん、違う。」

「いつでもいいから話したくなったら言ってね。」

本当は言いたい。先生、痛いよ、心が。お母さんは気づかないのに、先生はわかってるのね。先生、お母さんを助けて。

3

先生がお母さんに会いたいと電話をしてきた。お母さんは

「あんだ、何をしたの？」

「何もしないよ。」

お母さんは学校へやってきた。先生が、抜毛症は自傷行為ですよって、お母さんに説明した。お母さんは

「すみません、私、イライラして。先生、今は口で当たり散らしてるけど、手が出そうです。」

と言って泣き伏した。お母さん、かわいそうなお母さん。頭を撫でていると、先生は

「お母さん、お辛いのはお子さんですよ。こんなこと続いたら、理子ちゃん壊れちゃいます。気がついてますか。」

理子ちゃんの前髪見てください。額の左、ごっそり抜かれています。私、プールで分かって。いつもヘアピンで隠してるけど。」

「えっ、どれどっ。」

私はされるがままにしていたら、お母さんは抱きしめてわあわあ泣き出した。先生も泣いている。

先生と目が合った。先生が

「大丈夫？ 理子ちゃん。お母さん、少し私と話しませんか。」

お母さんと先生が話をする間、私は相談室から出ていた。

1時間して、先生が出てきた。私の頭をなでながら、

「理子ちゃん、先生、大好きよ。あなたのこと。やさしい理子ちゃん。お母さんもお父さんもあなたのことば愛しているのよ。」

「知ってる。先生、私、今度から話に来ていい？ 教室でなくて、ここへ。」

「うん、放課後にいつでもおいで。」

お母さんは少しすっきりしたような顔で、

「これから、理子のこと、ようく見ているからね。」

「うん、お母さん。妹の令子もね。」

今日も塾はあるけど、お母さん、鼻歌が出てる。何かちよっぴり嬉しくなった。

明日も先生にこのこと言おうっと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9559h/>

願い事

2010年10月8日21時56分発行